

## ⑫ 公開特許公報 (A) 平1-219483

⑯ Int. Cl.

F 25 D 23/04

識別記号

府内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)9月1日

G-7711-3L

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

④ 発明の名称 冷蔵庫

② 特願 昭63-45259

② 出願 昭63(1988)2月26日

⑦ 発明者 佐々木 雅俊 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内

⑦ 出願人 松下冷機株式会社 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地

⑦ 代理人 弁理士 中尾 敏男 外1名

## 明細書

## 1、発明の名称

冷蔵庫

## 2、特許請求の範囲

冷蔵庫前面を開閉する扉と、前記扉裏面のドア内箱とドア内箱に保合して取付けられた貯蔵棚と、前記貯蔵棚へのボトル等の転倒を防止するボトルストッパと、前記ボトルストッパ両端L字状部に凸状に設けたスライダー部と、前記貯蔵棚の右壁部及び左壁部に前記ボトルストッパのL字状部及び凸状スライダー部を前後に滑動して収納出来る案内レール部と、本案内レール部先端を凹状として前記ボトルストッパを回転収納出来る収納部とよりなる冷蔵庫。

## 3、発明の詳細な説明

## 産業上の利用分野

本発明は、物品を冷却貯蔵する貯蔵室内に物品を載せる為の棚を設けた冷蔵庫に関するものである。

## 従来の技術

近年、冷蔵庫の棚は、前壁に保合して貯蔵容器が倒れるのを防止するボトルストッパが設けられている。

以下に、従来の冷蔵庫について説明する。

第5図は、貯蔵棚にボトルストッパが取り付けられた従来の冷蔵庫の斜視図を、第6図は、同第5図の貯蔵棚の斜視図を示すものである。

第5図において、1は冷蔵庫本体で、2は外箱、3は前記冷蔵庫本体1の内箱、4は冷蔵庫前面を開閉する扉、5は扉4のドア内箱、6はドア内箱5に備え付けられた貯蔵棚、7は貯蔵棚6の前壁、8はボトルストッパ、9は前壁7に設けられたボトルストッパ8を滑動する為の案内レールである。

第6図において10は貯蔵棚6をドア内箱5に取り付ける為の嵌合部である。

以上のように構成された冷蔵庫について、以下の動作について説明する。

まず、ボトルストッパ8は貯蔵棚6の前壁7に設けられた案内レール9に保合され左右に滑動する。この動作により貯蔵棚内に納められた貯蔵容

器が、左右に倒れるのを防止することができる。

#### 発明が解決するための課題

しかしながら上記従来の構成では、ボトルストッパ8が左右に摺動する為、冷蔵庫の扉2を開けた際収納された貯蔵容器が前後にがたつくという使い勝手が悪いものとなっていた。又ボトルストッパ8を寄せた反対側に空間を形成する欠点を有していた。

本発明は、上記従来の課題を解決するもので、冷蔵庫の扉を前後に開けた際、収納された貯蔵容器が前後にがたつくのを無くし、ボトルストッパを寄せた際の空間を無くす使い勝手の良い冷蔵庫を提供することを目的とする。

#### 課題を解決するための手段

この課題を達成する為に、本発明の冷蔵庫は、貯蔵棚側壁に案内レールと、前記案内レールに取り付けるボトルストッパとを備え、前記ボトルストッパを貯蔵棚前壁に形成した収納部に収納する構成としている。

#### 作用

ボトルストッパ15が側壁12に設けられた案内レール14を摺動することにより、貯蔵容器の前後のがたつきを防止でき、又、収納部16にボトルストッパ15を手前に回転収納させることによりほとんど無効空間をつくることなく使用することもできる。

以上のように、本実施例によれば、ボトルストッパは側壁に設けられた案内レールに取り付けられている。貯蔵容器前壁にボトルストッパ収納部が設けられている為、貯蔵容器の扉開閉時の前後のがたつきを防止することができ、又、ボトルストッパの収納部がある為、ボトルストッパを寄せた際の空間を無くすことができる。

#### 発明の効果

以上のように本発明は、貯蔵棚左側壁部、右側壁部にボトルストッパを摺動させる案内レールを備え貯蔵棚前壁にボトルストッパを収納する収納部とを備え、ボトルストッパL字状部に凸状のスライダー部を設けることにより、扉を開閉する際貯蔵容器が前後にがたつくことを防止する事がで

この構成によってボトルストッパが前後に摺動する為貯蔵容器が前後にがたつくのを防止し、空間を無くすものである。

#### 実施例

以下本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

第1図は本発明の一実施例における貯蔵棚の斜視図を、第2図は同第1図のA-A方向からの断面図を、第3図は同第1図のB-B方向からの断面図を、第4図は貯蔵棚を取り付けた冷蔵庫の斜視図を示すものである。

第1図において、11は貯蔵棚、12は側壁、13は前壁、14は側壁12に設けられた案内レール、15はボトルストッパ、16は前壁13に設けられたボトルストッパ15を収納する収納部、17は貯蔵棚8をドア内箱5に取り付ける為の嵌合部である。第2図において18はボトルストッパ15両端に設けたスライダー部である。

以上のように構成された冷蔵庫について以下の動作を説明する。

き凸状スライダー部を設けることによりボトルストッパがはずれる事を防止できる。又、ボトルストッパの収納部を設けることにより、従来ボトルストッパを寄せたときに生じた空間を無くすことができる。さらに、扉内に充填された断熱材が冷却され、ドア内箱が収縮した際、ボトルストッパが梁の役割を果たし貯蔵棚のそりを無くすことができ、使い勝手の良い、構造的にも優れた冷蔵庫を実現できるものである。

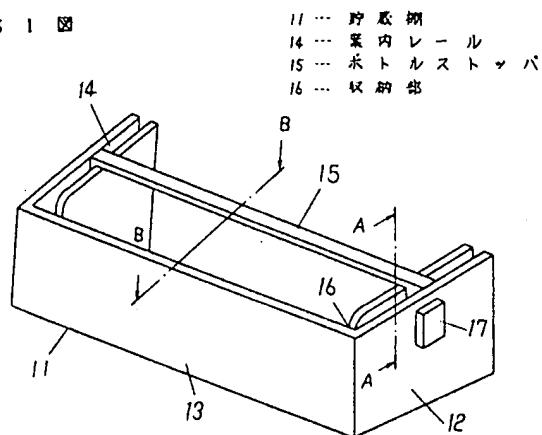
#### 4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す貯蔵棚の斜視図、第2図は同第1図のA-A線の断面図、第3図は同第1図のB-B線の断面図、第4図は本発明の冷蔵庫の斜視図、第5図は従来の冷蔵庫の斜視図、第6図は従来の貯蔵棚の斜視図である。

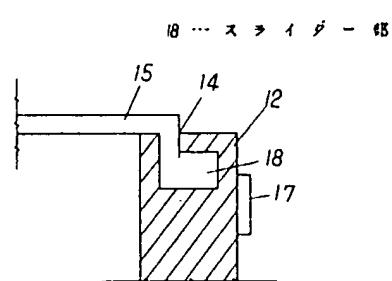
4……扉、5……ドア内箱、11……貯蔵棚、14……案内レール、15……ボトルストッパ、16……収納部、18……スライダー部。

代理人の氏名 井理士 中 尾 敏 男 ほか1名

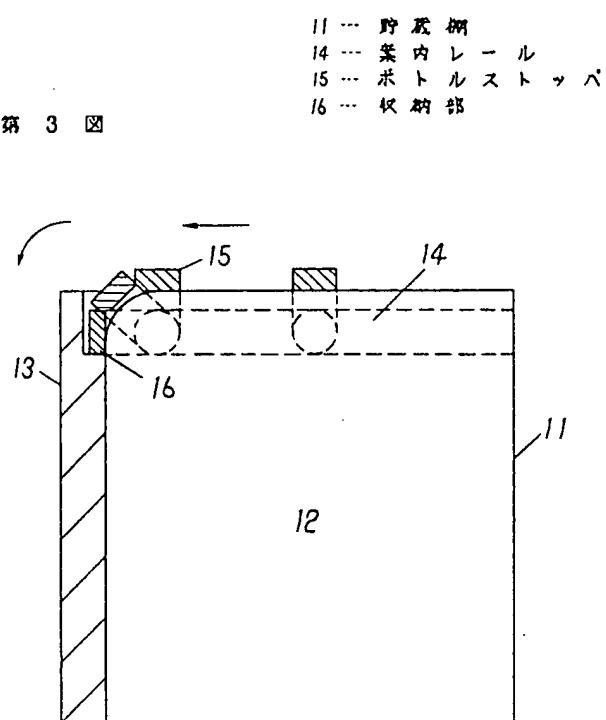
第1図



第2図

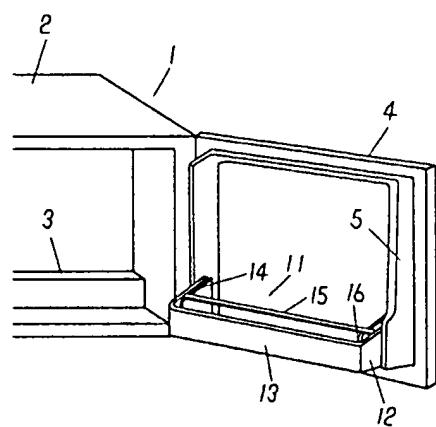


第3図

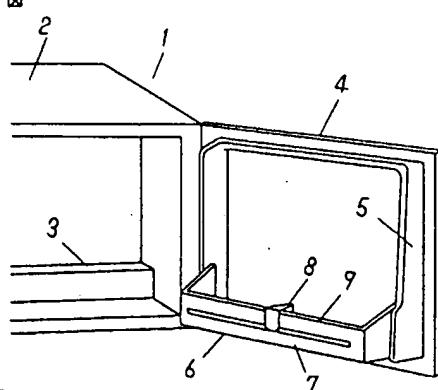


第4図

4…鼻  
5…ドア内箱  
11…貯蔵箱  
14…収納内レール  
15…ボトルストッパー  
16…収納部



第5図



第6図

